

プロフェッショナル

～一技術者の思い～

平成23年6月25日(土)
富山県技術士会 第15回講演会

北陸基礎開発(株) 桜井幹郎

目 次

1. プロフェッショナルとは
2. オウス、クレド そして 責務
 - 2.1 ピポクラテスの誓い
 - 2.2 クレド(リッツカールトン)
 - 2.3 技術士の責務
3. プロフェッショナルに必要なもの
 - 3.1 技術力の格差
 - 3.2 格差を縮めるには
 - 3.3 感性を磨く
4. まとめ

1. プロフェッショナルとは

プロフェッショナルの語源

Profess — Profession — Professional
動詞 名詞 形容詞・名詞

Profess 神に告白する
Professor ?

2. オウス・クレド そして 責務

プロフェッショナルの元祖？

医学の父 ピポクラテス(紀元前460年～370年頃)

「ピポクラテスの誓い」
The Oath of Hippocrates

医師の倫理・任務などについての、
ギリシア神への宣誓文。

プロフェッショナルとは、
神に誓いを立て、これを職としたもの。

2.1 ピポクラテスの誓い

- 医の実践を許された私は、全生涯を人道にささげる。
- 恩師に尊敬と感謝を捧げる。
- 良心と威厳をもって医を实践する。
- 患者の健康と生命を第一とする。
- 患者の秘密を厳守する。
- 医業の名誉と尊い伝統を保持する。
- 同僚は兄弟と見なし、人種、宗教、国籍、社会的地位のいかんによって、患者を差別しない。
- 人間の生命を受精のはじめより至上のものとして尊ぶ。
- いかなる強圧に遭うとも、人道に反した目的のために、我が知識を悪用しない。

「ピポクラテスの西洋医学序説」

2.2 クレド (リッツカールトン)

クレド(Credo)とは、

- ・信条、理念を意味するラテン語
- ・価値観や行動規範を簡潔に表現した文言

自分の行動を、

自分自身の考えで決める。

マニュアルはない。

言うは易く、行なうは難し。



2.3 技術士の責務

(技術士等の公益確保の責務)

技術士又は技術士補は、その業務を行うにあたっては、公共の安全、環境の保全その他の公益を害することのないように努めなければならない。

(技術士の資質向上の責務)

技術士は、常に、その業務に関して有する知識及び技能の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るよう努めなければならない。

3. プロフェッショナルに必要なもの

□ プロフェッショナルとしてのセンス

- ・現場全体を見る力・洞察力
- ・問題に対する多彩なアプローチ
- ・論理的な思考回路
- ・複数の解決策の立案

3.1 技術力の格差

□ プロとアマの違い

初心者—初級—中級—上級—有段—高段—プロ
級位者 高段者

お互い考えていることが理解できない。
同じ局面を見ている、手に入れる情報が桁違い。
大局的、部分的に考え、さまざまな、対応策を持つ。

3.2 格差を縮めるには

□ まず、現場に行こう

- ・現場から持ち込んだ問題に対する技術者の賢明な反応は、「見に行こう」である。
- ・現場においてのみ、現実の世界の複雑さ、すなわち、図面や数式が無視している要素を学ぶことが出来る。

□ 上位者の話を現場で聞こう

- ・同じものを見て感じ話すことにより、感覚の差が縮まる。

□ 議論しよう

- ・議論することにより、多種多様な考えが身につく、考えが深まる。

3.3 感性を磨く

□ 自分で確かめる

- ・パソコンにより感性が奪われている。
コンピューターの精確さと速さは、数字で表した解の妥当性についての眼で見たときの感性を犠牲にしてもたらされたものである。
- ・自分で計算し、確かめることにより、感性が養われる。

□ 失敗を恐れない

- ・自分の限界は、自分の思っている先にある。
- ・成功より失敗の方が学ぶものが多い。

まとめ

□ プロフェッショナルとは

- ・神に誓いを立て、これを職としたものである。
- ・守るべき誓いがある。
- ・技術的センスを持ち、それを磨き続けることが出来る。

□ 現場に行こう

□ 挑戦してみよう

□ 大志を抱け

以上